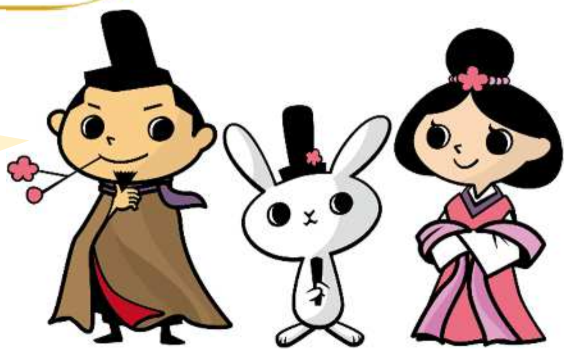
第8回 だざいふ景観賞

受賞作品紹介



ごあいさつ

日頃より太宰府市の景観行政にご協力いただき心より御礼申し上げます。だざいふ景観賞も今回で8回目を迎え、本市の景観まちづくりも徐々に浸透し、景観の観点からも魅力的な街なみが形成されてきたと感じています。

今回の景観賞では、建築物や工作物、シンボルツリーなど多種多様な作品をご応募いただきました。どの作品も「令和の都だざいふ」を彷彿とさせる個性があり、最終的には合計23作品の中から3つの作品が選ばれました。

長い歴史の中で育まれてきた郷土景観を未来へと紡ぎ、生まれゆく新たな景観にも寄り添いながら、今後も景観まちづくりを進めてまいりますので、市民・事業者の皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、ご多忙のなか厳正なる審査をいただきました景観・市民遺産審議会の委員の皆様、並びに受賞者、応募者、関係者の皆様方のご理解ご協力に感謝いたしますとともに、今後益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

太宰府市長
楠田大蔵

だざいふ景観賞の概要

市内の良好な景観形成に資する建築物等を表彰することで、太宰府市が推進している景観まちづくりの啓発を行うとともに、太宰府市内における景観水準の向上を目的としています。

募集・選考

≪作品募集≫
・期間：令和６年５月１日～６月14日
≪市民人気投票≫（審査のための参考資料）
・期間：令和６年７月19日～９月６日
・方法：市内公共施設７ヶ所に応募作品一覧表を掲示し、来場者による任意投票、ホームページによるWeb投票を実施
・投票総数：733票
≪一次審査≫
・審査員：太宰府市景観・市民遺産審議会委員
・審査期間：令和6年7月16日～９月６日
・方法：統一評価基準にて採点（委員各自）
≪最終審査≫
・審査員：太宰府市景観・市民遺産審議会委員
・最終審査：令和６年10月30日
・方法：太宰府市景観・市民遺産審議会にて審議

過去受賞作品は
市ホームページに掲載中
（ページID：1186）

各賞の概要

≪だざいふ景観大賞≫
全応募作品の中で最も優れた作品。物件単体の価値のみならず、市内周辺の景観形成のモデルとなり、すでに一定の効果を果たしているもので、将来にわたる景観形成においても示唆を与えると考えられるもの。

≪景観賞≫
単体としての景観形成上の価値があり、太宰府市の景観づくりに寄与しているもの。

≪市長賞≫
地域の景観づくりに功績のある物件に対し、市長からの感謝の意味を込めて贈るもの。

審査員講評

太宰府市
景観・市民遺産審議会
会長　浅野　直人

第８回目の景観賞は、須佐神社、旭地蔵、吉松観音堂、若宮神社と毘沙門堂そのほか23の候補の中から、これまでも有力候補だったものを、遅くなりましたが、大賞と景観賞に選びました。

太宰府天満宮の太鼓橋は全国にもよく知られた太宰府のシンボルというべき景観の一つです。また、水城跡も、古代から太宰府がこの国の重要な拠点であったことを象徴する、大事な景観です。菜の花やコスモスが季節ごとにその景観を引き立たせています。今回はこれらの花を育ててくださっている方々のご努力を特に評価いたしました。楷の木は学校院跡のものを第２回にも表彰しました。しかし、今回の表彰で国分寺跡とこの楷の木も広く知っていただくことができることでしょう。

太宰府市
DAZAIFU CITY
都市整備部 都市計画課 景観・歴史のまち推進係
〒818-0198 太宰府市観世音寺一丁目１番１号
TEL 092-921-2121　FAX 092-921-1601
太宰府市公式ホームページ
http://www.city.dazaifu.lg.jp/

第８回 だざいふ景観大賞

太宰府天満宮太鼓橋

所在地：宰府４丁目
【所有者】太宰府天満宮

太宰府天満宮にある太鼓橋は、心字池に架かる３つの橋から成り立っています。クスノキの森や心字池の美しい自然の中に、弧を描く朱色の太鼓橋が浮かぶ様子が神秘的な印象を与え、訪れた人の目を引く景観となっています。

景観賞

水城跡

所在地：水城、国分、吉松
【関連団体】太宰府市農業生産組織組合

水城跡は 663 年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた日本が国土防衛のため築造した土塁です。現在水城跡では、春には菜の花が秋にはコスモスが花咲き、四季の移ろいを楽しむことができます。

市長賞

筑前国分寺跡の楷の木

所在地：国分４丁目

筑前国分寺跡には現在も巨大な塔心礎が残っています。その敷地内にある楷の木は「学問の木」といわれており、秋になると燃えるような赤色に紅葉します。